

動物実験に関する検証結果報告書

麻布大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2022年3月

2022年3月7日

麻布大学  
学長 川上 泰 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 三好 一郎



対象機関：麻布大学  
申請年月日：2021年7月26日  
訪問調査年月日：2021年12月17日  
調査員：下田耕治、加納 聖、竹内崇師

#### 検証の総評

麻布大学は1950年に麻布獣医科大学として開学し、1980年に現名称に改称した、2学部2研究科（獣医学部、生命・環境科学部、獣医学研究科及び環境保健学研究科）を有する私立大学である。「麻布大学動物実験規程（以下「動物実験規程」という。）」のもとで動物実験委員会を組織し、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開など、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則した動物実験が適正に実施されている。また、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則した飼養保管体制が整備されている。学部及び大学院で実験動物学と実験動物技術者の教育に注力し、専門家を養成している点は高く評価できる。一方、中核的な2か所の飼養保管施設のほか、それらに付随する複数の分室が研究室に設置されている。分室における運用実績が浅いため、飼養保管や施設維持管理の状況が実験動物管理者及び動物実験委員会によつて的確に把握されるか明確でない点がある。今後は、ソフト・ハード面での一層の改善を期待する。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
- 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程を定めていない。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

「動物実験規程」及び「麻布大学動物実験規程に係る申し合わせ」等が定められ、その内容は基本指針及び飼養保管基準に則している。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

##### 4) 改善に向けた意見

特になし。

#### 2. 動物実験委員会

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
- 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会を設置していない。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

「動物実験規程」に基づき、基本指針で規定される3種のカテゴリーの委員を含む17名の委員で構成する動物実験委員会が設置されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見  
特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

「動物実験等計画申請書」「動物実験等計画書」「動物実験等の倫理性に関する自己評価」「提出前チェックシート」「審査結果通知書」「動物実験等計画変更申請書」及び「動物実験等（終了・中止）報告書」が定められている。動物実験の結果を年度ごとに把握するための「結果」あるいは「経過」報告書は定められていないが、「動物実験等（終了・中止）報告書」を毎年度提出させている。しかしながら、研究期間が複数年にわたる実験の場合、終了時あるいは中止時に報告すればよいと誤解されやすく、毎年度の報告の必要性について一部の実験実施者への周知が十分でない。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

#### 4) 改善に向けた意見

年度ごとに動物実験の結果又は経過を把握するために、結果報告書あるいは経過報告書などの書式を定めるとともに、実験実施者へのさらなる周知を検討されたい。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

「麻布大学遺伝子組換え実験安全管理規則」「麻布大学病原体等安全管理規則」「麻布大学放射線障害予防規程」「麻布大学における人を対象とする医学研究に関する倫理規程」「麻布大学におけるヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理規程」等が定められている。動物実験委員会と他

の安全委員会で共通の委員を置き、情報の共有を図っている。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

2か所の中核的な飼養保管施設及び複数の分室（各研究室に設置）は、動物実験委員会による実地調査を経て審議・承認されている。しかしながら、動物実験委員会委員長が全施設の実験動物管理者として任命されている点については改善の余地がある。また、飼養保管施設及び分室には飼養保管の標準操作手順書（SOP）が整備されているが、一部内容に不十分な点がある。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

「動物実験規程」において飼養保管施設及び飼養保管施設分室の設置を定めているが、両者の要件は同一であり、互いの差異が明確でない。各研究室の分室での飼養保管体制をよりの確に把握できるよう、両者の階層関係を明確にすることを検討されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験規程」に基づき、動物実験委員会は動物実験計画の審査、実施状況及び結果の把握、飼養保管施設及び実験室の承認に係る審査、教育訓練、自己点検・評価等を実施し、その結果を学長に報告している。年1回の定期委員会会議及び複数回の臨時会議を開催している。動物実験計画は分野別に4班（4名の委員と委員長（計5名））を編成し、毎月予備審査している。議事録などの記録が保管されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験計画の審査に全委員が関与することを担保し、最終的な審査を行うため、予備審査の経過や結果をより詳細に動物実験委員会へ報告し、情報共有を図ることを検討されたい。</p>

### 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験規程」に則して動物実験計画の審査が実施され、2020年度には314件の動物実験計画が承認されている。しかしながら、動物実験等（終了・中止）報告書及び動物実験自己点検票の提出率は9割程度である。また、実験動物の年間使用数を集計しておらず、学内の動物実験実施状況を十分把握していない。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>

<p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>年間の動物使用数について、機関（動物実験委員会）が使用数の定義や集計方法を定め、的確に状況を把握するよう検討されたい。また、年度ごとの動物実験の結果報告及び動物実験自己点検票の提出について一層の徹底を図られたい。</p>

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験は、法令及び大学の諸規程に則して安全に実施されている。また、必要な安全設備は適切に整備されている。安全管理に関連する委員会のあいだで必要な情報共有がされている。また、該当する実験について、事故等の報告はない。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>安全管理に注意を要する動物の飼育室について、表示等の再確認を検討されたい。</p>

### 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
--

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設として、家畜を主に飼育する動物管理センター、実験動物を主に飼育する生物科学総合研究所及び複数の分室が設置されている。中核施設である動物管理センターと生物科学総合研究所においては、必要事項を網羅した飼養保管の標準操作手順書（SOP）が整備されている。また、中核施設では実験動物管理者の下で飼養保管の標準操作手順書（SOP）に従い適正に飼養保管が行われている。各飼養保管施設は、実験動物飼養保管状況の自己点検票を提出しており、マウス・ラットを飼育する生物科学総合研究所では微生物モニタリングを年1回実施している。しかしながら、実験動物管理者及び動物実験委員会は各研究室の分室における飼養保管状況を的確には把握しておらず、分室が作成している飼養保管の標準操作手順書（SOP）は必要事項を網羅していない。よって、実験動物の飼養保管状況について、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

マウス・ラットを飼育する施設では、微生物モニタリングの頻度を上げ、動物の健康状態をよりの確に把握することを検討されたい。また、各研究室の分室に関しては、飼養保管の標準操作手順書（SOP）の内容を充実させるとともに、飼養保管状況をよりの確に実験動物管理者及び動物実験委員会に報告させることを検討されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物を主に飼育する生物科学総合研究所での施設の維持管理は適正である。また、家畜を主に飼育する動物管理センターでは動物種に応じた飼育形態の設備が整備されている。よって、施設等の維持管理の状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。」とする。



3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
中長期的な施設の維持管理計画を作成し、分室の集約化も含めた飼養保管施設全体の維持管理のさらなる充実を図りたい。

## 6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
2020年度の教育訓練はオンラインにより実施され、動物実験実施者全員（983名）が年1回受講している。教育訓練の内容や記録管理に問題はない。実験動物管理者は実験動物学会の実験動物管理者等研修会に参加している。また、学部及び大学院で実験動物学と実験動物技術者の教育に注力し、専門家を養成している点は高く評価できる。よって、教育訓練の実施状況について「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」とする。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
2016年度から動物実験に関する自己点検・評価を実施している。規程類、自己点検・評価報告

書、飼養保管状況、動物実験委員会構成など必要な情報をホームページ上に公開している。また、「麻布大学獣医学部における生体を利用する実習に対する考え方」を公開している。よって、自己点検・評価、情報公開について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」とする。

### 3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### 4) 改善に向けた意見

飼養保管状況の動物数について、飼養している動物数だけでなく年間使用した動物数も集計し公開することを検討されたい。また、前年度の動物実験計画の承認件数に係る情報は、自己点検・評価報告書の末尾ではなく、飼養保管状況や教育訓練の実績など、より見やすいページに公開するよう検討されたい。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。